

鼻骨骨折整復術後に良好な鼻骨形態評価を得るための因子についての検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年1月18日 ～ 2025年3月31日

〔研究課題〕

鼻骨骨折整復術後に良好な鼻骨形態評価を得るための因子についての検討

〔研究目的〕

鼻骨骨折の整復方法で一般的なものは鼻腔内から鉗子を用いる方法です。手術は術前の鼻骨形態に戻すことを目的としていますが、変形が残る場合もあります。そこで、最終的に鼻骨骨折整復術後の成績を向上させることを目的として研究を行います。鼻骨骨折の整復程度を自己評価や自覚症状等の主観ではなく客観的に評価し、良好な術後の鼻骨形態に影響する因子についての検討を行います。

〔研究意義〕

鼻骨骨折術後の形態を改善させることができる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2009年5月から2023年5月までの間に、鼻骨骨折に対して整復術を施行した患者さんを対象とします。既存のカルテ上にあるCT、患者情報(年齢、性別、鼻骨骨折既往の有無など)、手術情報(手術時間、エコー利用の有無など)を利用して研究を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部形成・口腔顎顔面外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

データは個人が特定されないよう加工して扱います。研究成果は取りまとめて学会等で発表します。その際に例として提示する画像は、個人が特定されないようにいたします。研究終了後はデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：福場美千子 助教

所属：帝京大学医学部形成・口腔顎顔面外科学講座

住所：板橋区加賀2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 7323 〕